製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について -

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や 財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読 みください。



荷女 / この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重 📘 🗖 傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



🚣 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可 能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内 容を示しています。

絵表示の例



記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



◇ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれていま す。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜 け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきまして は、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責 任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害

●録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意 |には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。 (説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

定したりしない。

あります。

ます。

交流100ボルトの電圧で使 用する

この機器は、交流100ボルト専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると、火災・ 感電の原因となります。



船舶などの直流(DC)電源に は接続しない

火災の原因となります。



通風孔をふさがない

- ●あおむけや横倒し、逆さまにして使用 しない。
- ●布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に 置いて使用しない。
- ●風通しの悪い狭い所で使用しない。 通風孔がふさがると、内部に熱が い こもり、火災の原因となります。



風呂、シャワー室では使用し

風呂、シャワー室など湿度の高いところ や、水はねのある場所では使用しない。 火災・感電の原因となります。



水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特に ご注意ください。



なります。

▶ 異常が起きた場合は電源プ ラグを抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無

理に曲げたり、ねじったり、引っ張った

り、加熱したり、ステープルや釘などで固

電源コードの上に重いものをのせたり、

コードを本機の下敷きにしたりしない。 コードを敷物などで覆ってしまうと、気

づかずに重いものをのせてしまうことが

コードが傷つき、火災・感電の原因となり

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断

線など)販売店または当社サービス窓口

そのまま使用すると火災・感電の原因と

に交換をご依頼ください。

内部に水や異物が入ったり、煙が出た り、変な臭いや音がしたりした場合は、 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグ をコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災・感電の原因と なります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてか ら修理をご依頼ください。





ぬれた手で電源プラグを抜 き差ししない

感電の原因となります。



雷が鳴り始めたらアンテナ ′線や電源プラグには触れな (1

感電の原因となります。

を抜く

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着している と、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・ 感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜いて、乾

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原

機器の通風孔、開口部から内部に金属類

や燃えやすいものなどを差し込んだり

本機のカバーやパネルにはプラスチック

が使われており、燃え移ると火災の原因

機器の内部に水や異物を入

いた布で取り除いて ください。

因となります。

となります。

れない

落とし込んだりしない。

火炎·感電の原因となります。



点検、修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火炎・感電の原因と

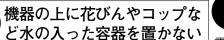
落下した機器は電源プラグ

なります。

機器を落としたり、カバーやケースがこ

われたりした場合は、電源スイッチを切

り、電源プラグをコンセントから抜いて、



電池は乳幼児の手の届かな いところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあり ます。ボタン電池など小型の電池は特に ご注意ください。

万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただ ちに医師と相談してください。



乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの 原因となります。

、機器の上にろうそくやランプ など火のついた物を置かない

機器のケースを開けたり改 造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感 電の原因となります。

点検、修理は販売店または当社サービス 窓口にご依頼ください。

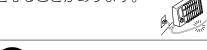


電源コードを熱器具に近づ ゚ゖない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロン など)に近づけない。

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因

となることがあります。





不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安 定な場所に置かない。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因とな ることがあります。



湿気やほこりの多い場所に 置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそ ば、湿気やほこりの多い場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が あたる場所など、異常に温度が高くなる 場所に放置しない。

本体や部品に悪い影響を与え、火災の原 因となることがあります。



アンテナエ事は販売店に相 ႛ談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテ ナは送配電線から離れた場所に設置して ください。

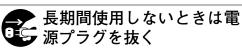
アンテナが倒れた場合、感電の原因とな ることがあります。



▲電源プラグはコンセントに ′根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこ りが付着したりして、火災の原因となる ことがあります。また、電源プラグの刃に 触れると、感電の原因となることがあり

電源プラグを根元まで差し込んでもゆる みがあるコンセントの場合には、販売店 や電気工事店にコンセントの交換を依頼 してください。



旅行などで長期間使用しないときは、必 ず電源プラグをコンセントから抜く。 火災の原因となることがあります。

▶ 移動させるときは電源プラグ □⊆ を抜く

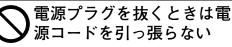
移動させるときは、電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜き、アン テナ線、接続コードを外す。

コードが傷つき、火災、感電の原因となる ことがあります。

▶ お手入れの際は電源プラグ ◯≤ を抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセント から抜く。

感電の原因となることがあります。



コードが傷つき、火災・感電の原因となる ことがあります。必ずプラグを持って抜 いてください。

、注意



カセットテープ、ディスク **挿入口に手を入れない**

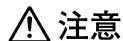
手がはさまれて、けがの原因となること があります。

特にお子様にはご注意ください。



レーザー光源をのぞき込まない

-ザー光が目に当たると、視力障害を 起こすことがあります。





機器の接続は取扱説明書に 従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器 の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説 明に従って接続する。また、接続は指定の コードを使用する。

あやまった接続、指定以外のコードの使 用、コードの延長をすると発熱し、やけど の原因となることがあります。



機器の上に重いものや外枠 [']からはみ出るような大きな 物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したり して、けがの原因となることがあります。



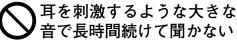
機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。 特にお子様にはご注意ください。 倒れたり、こわれたりして、けがの原因と なることがあります。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因 となることがあります。特にヘッドホンを ご使用になるときは注意してください。



聴力に悪い影響を与えることがありま す。特にヘッドホンをご使用になるとき は注意してください。



、長時間音が歪んだ状態で使 わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となる ことがあります。



】ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修 したディスクは使用しない。

ディスクは機器内で高速回転しますの で、飛び散って、けがの原因となることが あります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- ●極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向 き)に注意し、表示どおりに入れる。
- ●指定の電池を使用する。
- ●使い切ったときや、長期間使用しない ときは、取り出しておく。
- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- ●違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- ●電池は、加熱したり、分解したり、火や

水の中に入れたりしない。 電池は誤った使い方をすると、破裂、液も れにより、火災、けがや周囲を破損する原 因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電 により液がもれ、けがややけどの原因と なることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼く ださい。万一、もれた液が身体についたと きは、水でよく洗い流してください。

定期的に内部の点検、清掃 、をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点 検、清掃をお勧めします。販売店、または 最寄りのケンウッドサービス窓口に費用 を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま長い間掃除 をしないと、火災や故障の原因となるこ とがあります。